

会の趣旨

これからの算数・数学教育を考える会は、京都府・市を中心に全国の方々と、算数・数学教育のあり方について議論・交流する会です。

日頃の学校現場での算数・数学の授業実践を持ち寄り、指導の改善につなげたり、新しい教育内容・方法の考案・検証を行っていくことを目的としています。

算数・数学教育に関心のある先生、教員を目指す学生・高校生、一般の方々のご参加をお待ちしています。

日時

2021年11月12日（金）

18：30～19：30 事例発表

19：30～20：00 教育最新事情

プログラム Zoomを利用したオンライン開催

18：30～19：00 事例発表1

実データを用いた「データの活用」領域の指導の在り方

－小学校第6学年「資料の調べ方」の単元学習を通して－

津田 真秀（京都教育大学附属京都小中学校 教諭）

19：00～19：30 事例発表2

小学校6年生を対象とした図形の求積指導におけるタブレット活用

宮本 隆太（京都市立百々小学校 教諭）

19：30～20：00 教育最新事情

「深い学び」の深海にはまらないために

黒田 恭史（京都教育大学教育学部数学科 教授）

対象 小・中・高等学校教員、学生、一般 **定員100名**

申込先

URL(QRコード)にアクセスして

お申し込みください。申込締切：11月3日

<https://forms.gle/tCs8SEtmFQeQX96Z6>



問い合わせ

黒田恭史（京都教育大学）

ykuroda@kyokyo-u.ac.jp

※参加申し込みができない場合は、上記の問い合わせ先までご連絡ください。

※第13回以降の発表者も、随時受け付けておりますのでご連絡ください。

第12回

「これからの算数・数学教育を考える会」